

# 2023 ライラックチャレンジ新体操大会開催要項（案）

令和 4年4月23日

- 1、主 催 札幌体操連盟  
 2、期 日 令和5年2月10日（金）～12日（日）  
 3、会 場 北海道立野幌総合運動公園体育館 江別市西野幌 481 番地  
 TEL.011-384-2166

## 4、競技種目

<競技>

### ※女子個人競技

手具の部 ルールの詳細は別紙参照（1種目自由選択）  
 チャンピオンの部は2種目とします。（自由選択）  
 （感染症の状況により1種目に変更の可能性あり）

チャンピオンの部シニア	6～9 難度	・ダンスステップ ・ダイナミック要素 ・AD
チャンピオンの部ジュニア	4～7 難度	
レベル8	6～9 難度	
レベル7	4～7 難度	
レベル6	4～7 難度	
レベル5	4～7 難度	
レベル4	4～6 難度	
レベル3	4～6 難度	
レベル2	4～6 難度	

### ※男子個人競技

ルール詳細は別紙参照

レベル8	4 種目	参加制限なし
レベル7	2 種目	参加制限なし
レベル6	2 種目	参加制限なし
レベル5	2 種目	参加制限なし
レベル4	2 種目	参加制限なし
レベル3	2 種目	参加制限なし
レベル2	1 種目	小学生まで
レベル1	徒手	参加制限なし

### ※徒手の部 ルールの詳細は別紙参照

レベル 2	徒手（小学3・4年）
レベル 1	徒手（小学1・2年・未就学児）

### ※男子団体競技

徒手	高校・一般
徒手	小・中学生

### ※女子団体競技

ルールの詳細は別紙参照

レベル5	シニア	制限なし	手具フリー
レベル4	ジュニア	幼児～中3	手具フリー
レベル3	チャイルド	幼児～小5	手具フリー
レベル2	徒手団体（ジュニア）	幼児～中3	手具なし
レベル1	徒手団体（チャイルド）	幼児～小5	手具なし

## 5、大会日程

2月10日（金） セッティング 17:00～  
 2月11日（土） 受付・審判会議  
 監督会議・開始式  
 練習・競技  
 2月12日（日） 練習・競技  
 表彰式・閉会式

\*参加人数によって競技日程が変更になります。

- 6、参加資格
- 個人・団体競技部分については札幌体操連盟、または各地区体操連盟に登録している選手のみとする。
  - 大会当日受付時までには札幌体操連盟に登録料を支払ったもの。  
(小・中学生 1 名 500 円、高校 1 名 1300 円、社会人 1 名 2500 円  
大学生 1 名 1300 円) 未就学児は登録費不要。
- 7、競技規則
- 全競技のルールは別紙参照。
  - 個人競技出場と団体競技出場の重複は可能。
  - 団体競技においての選手の重複は、1 演技につき重複者がいる場合 2 チームまでが表彰の対象となる。(3 チーム目からはオープン参加)  
※但し、団体競技について手具団体と徒手団体の部をまたがる重複は出来ない。
  - 個人レベル 2～8 については入賞者は次年度は上のレベルに参加すること。
- 8、表 彰
- レベルごとに 6 位まで表彰。優勝者のみ女子はティアラ、男子はメダル授与。
  - 団体は各部 6 位まで表彰。
  - 団体は 1～3 位はチーム全員、4～6 位は 1 枚賞状を授与。
- \*個人競技においては参加者の中で、不確定人数に奨励賞を与える。
- 9、参加料
- 個人競技 2, 800 円  
団体競技 (1 チーム) 5, 000 円 ※どちらもプログラム代込(団体は 1 冊)  
\*各自事前に傷害保険に加入して参加してください。
- 10、参加申し込み
- ①期 日 令和 4 年 12 月 6 日 (火) 必着
- ②申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、下記まで書類郵送とメールで申し込むこと。  
申込完了後に返信メールをお送りいたします。(両方提出で申し込み完了)  
<提出書類> 個人団体申込用紙 (EXCEL のみ対応)、納入金明細、撮影許可証申込用紙  
プログラム用写真 (各クラブ jpg で 1 枚)、プログラム用紙・参加選手一覧  
参加承諾書 (高校生以下) を大会当日受付時に提出。  
\*プログラム用写真はデータのみ提出 (出来るだけ画像鮮明)
- ③申込先 女子 熊谷 真琴 書類送付先 〒062-0904  
札幌市豊平区豊平 4 条 3 丁目 1-1-1309  
メール送信先 <kumacotokumacoto@live.jp> 宛て  
男子 石田 裕樹 書類送付先 〒004-0882 札幌市清田区平岡公園東 9 丁目 11 番 1 号  
札幌市立平岡緑中学校 石田裕樹  
メール送信先 <ishida.yuki@sapporo-c.ed.jp> 宛て  
連盟 HP から Excel 形式の参加申込書をダウンロードすることもできます。  
連盟ホームページ: <http://sgf.ne.jp>
- ④参加料 参加料は大会会場で受付時に納入すること。  
棄権・不参加の場合も支払うこと  
\*当日は釣銭の無いようにしてください。

#### 11、その他

- 本大会は帯同審判となっております。参加申込締切後、審判と補助役員の必要人数をご連絡しますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 大会結果は大会終了後日ホームページにてご連絡させていただきます。
- 個人情報の取り扱い(利用目的)取得した個人情報(大会映像・写真等含む)は、競技大会の資格審査・競技発表(記録等)、その他の競技運営及び競技に必要な連絡等に利用することから、大会に参加する選手はこれに同意します。
- 参加承諾書は大会受付時に提出すること。
- 感染症拡大状況により、観客制限の可能性もあります。

2023札幌ライラックチャレンジ (案) レベル別規則 (点数配分と計算方法)

\*競技規則・・・2022年～2024年(公財)日本体操協会競技規則(日体協HP確認事項を含む)

(1) 手具個人レベル別ルール表

レベル	要素 (2手具自由選択)		参加基準
チャンピオンの部 Sr	FIG Srルール適用		全道レベルの大会で3位以内入賞者(二種目) *中学生以上対象
チャンピオンの部 Jr	FIG Jrルール適用		
レベル	要素 (1手具自由選択)	適用規則	
8	DB Min3 Max9 W Min2 R Max5 DA *1～20個まで	特有基礎手具要素は2個 ステップシリーズ Min2	
7	DB Min3 Max7 W Min2 R Max4 DA *1～15個まで	特有基礎手具要素は2個 ステップシリーズ Min2	
6	DB Min3 Max7 <b>*コンバイン難度は推奨しない</b> W Min2 R Max4 DA *1～15個まで	特有基礎手具要素は2個 ステップシリーズ Min2	
5	DB Min3 Max7 <b>*コンバイン難度無し</b> <b>*DB難度は0.5までとする</b> W Min2 R Max4 DA *1～10個まで	特有基礎手具要素は2個 ステップシリーズ Min2  *高校2部はここ	<b>下の注釈はレベル5以下適用</b> ★DB/R/DAの高い投げについて立位1.5倍あれば加点とする。(レベル5まで) ★UBについて正確に美しく実施されているものについては-U.5差(めっくも高い)価値にて加点とする(フォーム減点およびローテーションによる回転3/4回転不足について) ★R実施の際最後の回転について3/4回転不足していてもD加点としE減点とする。 ★DAの垂直軸回転の回転不足による加点レベルはレベル2・3までとする。
4	DB Min3 Max6 <b>*コンバイン難度無し</b> <b>*DB難度は0.4までとする</b> W Min2 R Max3 DA *1～8個まで	特有基礎手具要素は2個 ステップシリーズ Min2	
3	DB Min3 Max5 <b>*コンバイン難度無し</b> <b>*DB難度は0.3までとする</b> W Min1 R Max2 <b>*手具空中下で1回転で加点0.1</b> DA *1～5個まで	特有基礎手具要素は1個 ステップシリーズ Min1	
2	DB Min3 Max5 <b>*コンバイン難度無し</b> <b>*DB難度は0.2までとする</b> W Min1 R Max1 <b>*手具空中下で1回転で加点0.1</b> DA *1～3個まで	特有基礎手具要素は1個 ステップシリーズ Min1	

※高校2部の選手についてはレベル5以上です。

(2) 徒手個人レベル別ルール表

レベル	規定要素	適用規則
2	①大ジャンプ P73 No23 (Lジャンプや後屈ジャンプではない) ②鹿ジャンプ P75 No32 (バックルや後屈ではない) *上記の2つについてはどちらかを右どちらかを左前足を変えること (例: 右足前大ジャンプ 左足前鹿ジャンプ) ③アラバスクバランス P85 No11 *かかと支持在り (スケールや後屈ではない) ④横バランス P85 No9(手支持在り) *かかと支持在り *③④については同じ動足で実施のこと ⑤パッセローテーション ⑥ステップシリーズ Min2 ⑧⑨ 全身での波動 Min2 *異なる方向で実施すること <b>注! DB表記載されているP88 No28の価値点0.2と0.3は不可</b> ⑩側転 ☆小学3・4年生☆	規定要素について 出来栄え点で評価する 0.5 0.3 0.1 0点
1	①鹿ジャンプ P75 No32 (バックルや後屈ではない) ②横バランス P85 No9(手支持在り) *かかと支持あり ③パッセローテーション P98 No3 ④ステップシリーズ Min1 ⑤6番ルババランス(2秒以上) ⑥垂直とび(間をおかずに連続2回以上) ⑦ルバ歩き(前のみ連続最低6歩以上) ⑧スキップ(最低4歩以上) ⑨側転 ⑩全身での波動 <b>注! DB表記載されているP88 No28の価値点0.2と0.3は不可</b> 理由: 成長過程での骨に影響を及ぼすため推奨しない ⑤⑥⑦⑧はステップシリーズと兼ねることはできない ☆未就学児～小学1・2年生☆	※同じ難度の繰り返しは無効とする  ※指定した難度以外は加点とならない  ※徒手レベルは指定された学年より上のレベルに出ることは可能だが次年度下のレベルに出ることは禁止

## 2023札幌ライラックチャレンジ（案）

## レベル別規則（点数配分と計算方法）

\*競技規則・・・2022年～2024年（公財）日本体操協会競技規則（日体協HP確認事項を含む）

### （3）団体レベル別ルール表（Ch・Jrは1手具で自由選択/Srは1手具・2手具で自由選択）

レベル	規定要素	適用規則	参加基準
レベル5 Sr	DB Max10 DB Min4 DE Min4 W Min2 R Max1 DA Min9 Max18 CC Min3 : CR Min3 c↗ / C↘ Min3	2022年～2024年日本 体操協会競技規則・採点 規則Srルール：高体連 ルール一部参照	高校生以上
レベル4 Jr	DB Max8 DB Min3 DE Min3 W Min2 R Max1 DA Min6 Max15 CC Min2 : CR Min2 c↗ / C↘ Min2	2022年～2024年日本 体操協会競技規則・採点 規則Jrルール	小中学生
レベル3 Ch	DB Max6 DB Min3 DE Min2 W Min2 R Max1 DA Min4 Max10 CC Min2 : CR Min1 c↗ / C↘ Min1 <b>*CLについては禁止</b>	2022年～2024年日本 体操協会競技規則・採点 規則Jrルール:一部適応	小学1～5年生まで *一人でも小学6年 がいる場合はJrへ

### （4）徒手団体（Ch・Jr）

レベル2 Jr	別紙参照	別紙参照
レベル1 Ch	別紙参照	別紙参照

## 2022年市民スポーツ大会および2023ライラックチャレンジ（案） チャイルド徒手団体

〈人数〉 4～8人

年齢 幼児～小学6年生まで

〈主旨〉 全身を使った正しいフォームの習得を目指す

### ■点数配分

要素/配分	技術的価値 (D) 各身体難度1.0MAX	注意及び関連事項
身体難度 DB  4～7難度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿ジャンプP75 No32 最低1個 0.2</li> <li>・横バランスP85No9 最低1個 0.2 (手支持あり・かかとの支持在り)</li> <li>・パッセローテーションP98 No3 最低1個 0.1～0.3</li> <li>・自由選択 最低1個～最高4個 各0.1～0.3</li> </ul> <p>*コンバイン難度は禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難度は同時または早い連続で次々と</li> <li>・自由選択の難度は異なるタイプと価値にて実施してもよい</li> </ul>
ボディムーブメント BM  Max 1.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェーブ (全身を使った波動)</li> <li>・スイング (全身を使った振動)</li> <li>・コントラクション (みぞおちの収縮)</li> <li>・ベンディング (背骨の屈曲)</li> <li>・ツイスト (ひねり)</li> <li>・リーン (傾斜)</li> <li>・リラックス (脱力)</li> </ul> <p style="text-align: right;">各0.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全て単独での加点 各1回</li> <li>・難度は同時または早い連続で次々と</li> <li>サブグループではなく全員で行う</li> </ul>
アームムーブメント Arm  Max 0.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低2種類の腕の動きの組み合わせで 3つ 各0.2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腕の動きとは腕の波動、振り、回旋や8の字など移動中、立位、座位で使用可。</li> <li>・手首だけの動きは腕の動きではない</li> </ul>
ダンスステップ コンビネーション S  最高4つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8秒以上 各0.3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスステップシリーズにはプレアクロバット要素・DBはいれないこと</li> <li>・アームムーブメントと合わせて行ってもよい</li> <li>・全員で行う事</li> </ul>
プレアクロバット要素 R  Max 0.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つ異なるプレアクロバット要素 各0.2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で同種類のを同時に実施または素早い連続による実施</li> <li>・単独で実施</li> </ul>
連係C  Max 10コ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレアクロバット要素を伴った連係 (CR) 0.3 最低1個～最高3個</li> <li>・回転を伴わない連係 (C) 最低3個 0.2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CR連係はパートナーの上、下、中をくぐりぬける事</li> <li>・C連係はチーム全員が関わっていること</li> </ul>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体難度及び連係について不足は減点する (多いものはカウントしない)</li> <li>・DB難度のカウントは実施順にカウントする</li> <li>・フォーメーションは最低6個実施すること</li> <li>・プレアクロバットはCRで使ったものはリスクでは使用不可 (各グループから1回のみ使用・シリーズは可)</li> <li>・プレアクロバット要素グループから同じ要素を実施した場合は2回目以降は無効</li> <li>・人を持ち上げて移動や引きする場合2歩までは良い</li> <li>・人の上を歩く場合1歩までとする。(2歩以上は禁止)</li> </ul>	

# 2022年市民スポーツ大会および2023ライラックチャレンジ（案）ジュニア徒手団体

〈人数〉 4～8人

年齢 幼児～中学生まで

〈主旨〉 全身を使った正しいフォームの習得を目指す

## ■点数配分

要素/配分	技術的価値 (D) 各身体難度1.0MAX	注意及び関連事項
身体難度 DB 4～7難度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンプ/リープ 最低1個 0.1～</li> <li>バランス 最低1個 0.1～</li> <li>ローテーション 最低1個 0.1～</li> <li>自由選択 最低1個～最高4個 0.1～</li> </ul> ＊コンバイン難度禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難度は同時または早い連続で次々と、サブグループではなく全員で行う</li> <li>・自由選択の難度は異なるタイプと価値にて実施してもよい</li> </ul>
ウェーブ W Max0.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェーブ（全身を使った波動） 各0.3</li> </ul> 最高2個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全て単独での加点。各1回</li> <li>・難度は同時または早い連続で次々と、サブグループではなく全員で行う</li> <li>・一つは立位で、もう一つは自由選択</li> </ul>
アームムーブメント Arm Max 0.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低2種類の腕の動きの組み合わせで 各0.2</li> </ul> 3つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腕の動きとは腕の波動、振り、回旋、8の字など移動中、立位、座位で使用可。</li> <li>・手首だけの動きは腕の動きではない</li> </ul>
ダンスステップ コンビネーション S 最高4つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスステップ 各0.3</li> </ul> 8秒以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスステップシリーズにはプレアクロバット要素・DBはいれないこと</li> <li>・アームムーブメントと合わせて行ってもよい</li> <li>・全員で行う事</li> </ul>
回転を伴う プレアクロバット R Max 0.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直軸とプレアクロバット要素での組み合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で同種類のものを同時・同方向に実施</li> <li>・回転軸の変更で0.1加点（例：シェネ2回+前転1回=R3Z 0.4点）</li> <li>・シリーズで2～3回転（4回転は禁止）</li> </ul>
連係 C Max 15個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレアクロバット要素を伴った連係 (CR) 0.3</li> <li>最低1個～最高5個</li> <li>・回転を伴わない連係 (C) 最低3個 0.2</li> <li>・リフティング (CL) 最高1個 0.2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CR連係はパートナーの上、下、中をくぐりぬける事</li> <li>・C連係はチーム全員が関わっていること</li> </ul>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体難度及び連係について不足は減点する（多いものはカウントしない）</li> <li>・DB難度のカウントは実施順にカウントする</li> <li>・フォーメーションは最低6個実施すること</li> <li>・プレアクロバットはCRで使ったものはRで使えない（各グループから1回のみ使用・シリーズは可）</li> <li>・プレアクロバット要素グループから同じ要素を実施した場合は2回目以降は無効</li> <li>・CLで人を持ち上げて移動や引きずる場合2歩までは良い</li> <li>・人の上を歩く場合1歩までとする。（2歩以上は禁止）</li> </ul>	

※リフト (CL)とは立位の状態の肩よりも高く持ち上げることをいう